

地球観測衛星 L O T U S at-1 契約調印式挨拶  
(2019年10月18日)

チュー・ゴック・アイン 科学技術大臣  
チャウ・バン・ミン ベトナム科学技術院長  
御列席の皆様

- 地球観測衛星ロータスサット 1 の製造契約署名式典開催にお祝いを申し上げますとともに、2点お話をさせていただきます。
- 一点目は、本件衛星と私自身の関りについてです。  
8年前の2011年3月、日本で東北大地震が発生したその日、私は、外務本省の執務室で事業者の方々と共に、本件事業の進捗状況について話をしておりました。  
また、当時、経済産業省の責任者とは、「本事業が、我が国初の地球観測衛星の輸出であり、円借款対象事業として、日本政府全体としてサポートしよう」と意見の一致がありました。
- それから数年の時間が経過し、3年前、大使として当地に着任した際、様々な事情により、本件が実現していないことに驚きました。また、2年前には、契約直前に再調整となりました。
- 私は、この衛星はベトナムの将来にとって必ず役に立つ、日越協力の象徴として、ぜひ実現させたいとの思いを有していましたが、この2年間には、その思いが揺らぐことも幾度かありました。
- そのような中、本日、このような式典がこのように盛大に開催できていることに、とても感慨深いものがありますし、同時に、このような重要な機会に立ち会っていることを非常に有難く思っています。

●本件実現のために、長年御尽力いただいた日越両国の多くの関係者の皆さまに、改めて心より感謝を申し上げます。

●二点目は、現在の日越関係全般についてです。

現在、ベトナムは飛躍的に発展する「歴史的好機」を迎え、ベトナムは発展のエネルギーに満ち満ちています。この時代のベトナムで勤務し、生活できる我々はとても幸運だと思います。

●その一方で、ベトナムは様々な課題に直面しており、ベトナム共産党および政府は、強い危機意識の下、汚職捜査の徹底、行政改革、電子政府導入、新たな人事政策導入などの改革に取り組まれています。

●日本は、ベトナムがこのような取組・改革を成功させて、持続的成長を達成し、更に強靱な国になることは、「東アジア地域全体の安定と繁栄」にとってとても重要と考えています。

●そしてこのような視点に基づいて、日本は、ベトナムが歴史的好機を確実に活かすことができるよう、ベトナムとの連携・協力を強化したい考えです。

●本衛星は、ベトナムにとって初めて自国で所有する初のレーダー衛星であり、海洋を含むベトナム全土の災害、気候変動対策などに貢献します。その結果、ベトナムの持続的発展のみならず、東アジア地域全体の安定と繁栄にも貢献するととても重要な役割を担うことになると確信しています。

●最後に、皆様の御健勝、本事業の成功、日越関係の一層の強化を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。  
ありがとうございました。

(了)